ご利用にあたっての注意

●調査番号　　u001

●調査名　　　東大社研・若年パネル調査（JLPS-Y）wave1，2007（非制限公開疑似データ）

●寄託者　　　東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト

○データについて

本データは、実際のデータ（調査番号PY010）をもとに作成された、擬似データです。1,000ケースを無作為抽出したうえで、変数を大幅に減らし、回答には無作為にノイズを混入させています。利用資格に制限はなく、誰でも利用できます。

（１）変数名について

①wave1データの変数名は、原則として先頭２文字にZQを付しています。

＜例外＞

　caseid 本データにおける一意の通し番号

　sex 対象者の性

　ybirth 対象者の生年

　mbirth 対象者の生月

　JCで始まる一連の変数 現職

②先頭から３文字目以降は以下のルールで付しています。

＜先頭から３・４文字目＞

　問番号　問１→01

＜先頭から５～８文字目＞

　付問・枝問の番号

（２）問４について

調査票の設計としては現職（問４Aの「現在のお仕事」）と最後職（問４Aの「直近のお仕事」）はどちらもA欄に記入するようになっていますが、問３等の情報を参考に、現職と最後職を切り分けて別々の変数を作成しています。現職は変数名がJCで始まるようになっています。最後職はこのデータには含まれていません。

（３）調査票の質問番号について

　本データに含めた変数にかかわる質問は、短縮版の調査票に整理しています。ただし、変数の削除をしているため、質問番号が連続しておりません。

○二次分析の結果発表について

　本データは、教育、分析練習等のためのものであり、二次分析の結果は、学術的な実証研究の結果とみなすことはできません。学術的な研究で用いたい方は、SSJDA-Directより実際のデータ（調査番号PY010）の利用申請をしてください。